

町民が安心して暮らせる

新たな町づくりを目指して

七ヶ宿町長 小関 幸一

あけましておめでとうござ
います。

町民の皆様におかれまして
は、ご家族お揃いでの輝かし
い新春をお迎えのこととお喜
び申し上げます。

若者の移住定住の促進と住
民生活の利便性向上を目的に
整備を進めてきました賑わ
い拠点施設「なないろひろば」
は、昨年、町民の暮らしを守
るガソリンスタンドを併設し
た「便利屋商店」と森林資源の
有効活用を図るための木質
チップを燃料とした「入浴施
設や・すまっしえ」がオーブン
し、計画した施設すべてが完
成しました。町民の皆様のご
理解とご協力に感謝申し上げ
ます。是非、多くの皆さんが
ご利用していただけるようお
願います。

今年、青少年旅行村をリ
ニューアルした「南蔵王やま
びこの森キャンプ場」のオー
ブンを予定しています。一昨

年開業した「街道HOSTE
Lおたて」のほか、七ヶ宿ス
キー場、道の駅などの観光施
設、その他の集客施設等と連
携を図って、交流人口の拡大
を目指していきます。

皆様の生活に関連し、介護
や在宅支援等の各種福祉事
業、健診、人間ドック等の各
種健康推進事業、18歳までの
医療費、学校給食費、保育料
の無料化のほか、子育て支援
金、次世代リーダー育成のた
めの助成、婚活支援事業など
全世代にわたる生活支援の充
実を図っています。また、有
害鳥獣対策として、電気柵「お
じろ式用心棒」の積極的導入
と被害防止施設補助金の拡充
を図り、住民生活と生産活動
の保護に力を入れています。

今年、第6次長期総合計
画の初年度にあたり、10年後
の七ヶ宿町を見据えた「まち
づくり」の新たなスタートの
年となります。子どもから高

「ワンチームで議会機能の強化」を目指して

七ヶ宿町議会議長 菅原 研治

町民の皆様には明るく穏や
かな新年を迎えられた事と心
よりお喜びを申し上げます。

昨年は年号が平成から令和
へと変わり歴史的な年として
賑わいましたが、度重なる地
震や台風により甚大な被害が
発生し、犠牲者をはじめ多く
の方々が被災され改めて国土
強靱化の重要性が浮き彫りと
なった年でもありました。

町内でも国道113号線や
県道白石国見線の崩落災害に
より、観光や物産、町民の生
活面に直接的な影響を受けま
した。新たな年は、被災地
の早期復旧・復興はもとより、
町内外においても平穏で活気
のある年であることを心より
願うところでもあります。

今年2月には、七ヶ宿町が
今後10年間に取組む基本的
な方針を示す「第6次七ヶ宿
町長期総合計画」の策定をは
じめ、独自性を持って持続可

能なまちづくりに取り組む
「地方創生総合戦略」など、町
の将来を大きく左右する新た
な計画が策定されますので、
議会としても民意がしっかりと
と反映された計画の策定を目
指し様々な調査・協議をして
おります。

一昨年には議会機能の充実
と強化を図るための「議会改
革検討特別委員会」や地方創
生関連事業の効果検証のため
の「地方創生検討特別委員会」
を設置しましたが、昨年9月
には議会の監視機能の強化と
明確化を図るために「公共事
業入札・契約等調査研究特別
委員会」を設置しました。

今日、議員定数の削減によ
り縮小化している議会ですが、
多くのご意見を幅広く拝聴す
るため、新たな「議会報告・懇
談会」の実行委員会を設置す
るなど、なお一層の開かれた
議会を目指しており、そうし

年齢まで、夢と誇りを持ち続
ける「町民が安心して暮らせ
る町づくり」を目指すことも
に、引き続き、若者定住対
策、子育て支援、農林業の振
興、交流人口の拡大による産
業の振興と雇用の創出などの
施策を推進していきます。

地方自治を取り巻く環境は、
依然として厳しい状況にあり
ますが、「小さくても持続可
能な七ヶ宿町」の実現のため、
全力を傾注していきますので、
町民の皆様のご理解とご協力
を賜りますよう重ねてお願い
申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご
多幸をお祈りいたしまして、
新年のごあいさつといたしま
す。

た中で議員一人ひとりの思い
を大切にしたい「ワンチーム議
会」として、町民の皆さんか
ら頂いた信託にしっかりと応
えて行きたいと考えておりま
す。

結びに町民の皆様のご健勝
とご多幸を心よりご祈念申し
上げ、議会を代表し年頭のご
挨拶と致します。

令和2年
新年のご挨拶を申し上げます